

学校だより

4月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成二十九年四月六日



学校・保護者・地域の連携

生活指導主任 花井 拓也

さらに信頼される学校を目指して

校長 加納 一好

あたたかな春の風に桜の花びらが舞っています。

本日、九十八名のかわいい一年生を迎え全校五百六十八名で平成二十九年度をスタートしました。

昨年度は、皆様のお陰で成果のある一年となりました。今年度もより充実した一年となるよう教職員一同、全力で教育活動の充実に向けてまいります

【白金小学校の教育目標・「合い言葉」】

個性的で創造的な行動と協動的で愛情ある行動ができ、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる人間性を育てる。このために、次の合い言葉を定める。

「合い言葉」自分をみつめ まわりもみつめ

ひとを生かし 自分も生かし

めあてをもって 努力を続ける

素晴らしい教育目標と「合い言葉」です。百四十年を超える本校の歴史と伝統を感じます。特に「合い言葉」は、やさしい言葉で表現していますが、深い意味を感じます。

そして、この目標と合い言葉を達成するために次の五項目を育成すべき力とします。

一 社会人基礎力（基礎学力、コミュニケーション力、語学力、学びに向かう力等）

二 「学習習慣・学習規律の定着」「補充学習の充実」など健康づくり（健康の理解と意欲、オリンピック・パラリンピックの意識の醸成、食の知識）

三 「専門家による健康学習」「アスリートの招へい」など社会的規範性（社会規範の理解と実践、倫理観の育成）

四 「白金スタンダードの徹底」「道徳教育の充実」など豊かな心（豊かな表現力、協調・協力等）

五 「音楽活動の充実」「図工作品の常設展示」など対人対応力（自他の理解と尊重、積極的に人かかわる態度等）

「縦割り班活動の充実」「外部人材を招いての授業」など

さらに、安心安全に登下校し学校生活を送ることができるよう教育環境を整えてまいります。例えば、通学路の安全確保や校舎や校庭の危険個所の補修などを進めます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

初心を大切に

副校長 辻 正道

白金小学校の平成二十九年年度の幕が開けました。

やはり、新年度は、大きな節目であり、子供たちも新たな希望を胸に、始業式を迎えたことと察します。登校途中も同じ景色なのに輝いて見えたり、一つ階が上がっただけなのに、まるで違う学校のよう感じたたりと、わくわく、どきどき感を含んだ緊張感も感じられたりします。

この初々しい気持ちを大切にして、新しい先生、新しい友達と出会い、お互いの「願い」を出し合って、集団としての「想い」にまとめて、「目標」に作り上げてほしいと願っています。「初心を忘るべからず」とは、世阿弥の言葉のようですが、世阿弥は「時々の初心を忘るべからず」ともいっています。「時々」とは、その時、その時期、の初心をも大切にすることです。積み重ね、継続することを見据えながらも、区切り、時節を大切にして、その「時々の初心を忘れずに」この一年間の白金小の教育を行いたいと考えています。

今年度も「学ぶ楽しさ」「成長する喜び」が溢れる白金小学校にすべく、「チーム白金小」として、子供の豊かな成長を支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、諸先輩のご理解とご支援をよろしく願います。

学校・保護者・地域の連携

生活指導主任 花井 拓也

春光うらかな季節を迎え、新しい学年が始まりました。

今年度の生活指導は昨年度に続き、「白金スタンダードの徹底」と「いじめ・不登校等への取組」を重点に取り組んで参ります。

白金スタンダードには、「最後まで静かに聞く。」などの学びの約束、「言葉遣いに気をつける。」などの学校生活の約束、「交通ルールを守り、他の人の迷惑にならないように安全に気をつけて通学路を登下校する。」などの登下校の約束の三種類があります。今年度は特に「あいさつ、会

積は目を見せします。」の項目に力を入れ、あいさつが活発に行き交うよう努めます。

いじめ・不登校等への取組としては、毎月、児童に学校生活アンケートを取り、学校生活で困っていることがないか確認をします。また、いじめ・不登校等対策検討委員会では、児童の現状や今後について話し合います。六月、十一月、二月には、いじめ防止強化をねらいとする、ふれあい月間の取組も行っています。

校内の取組だけでなく、保護者の皆様や地域の皆様からのご意見を聞いたり、一緒に取り組んだりしていくことも大切だと思っております。学校・保護者・地域が連携し、協力して白金小学校の児童を見守っていききたいと思います。ご協力お願い致します。